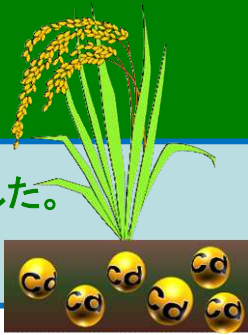


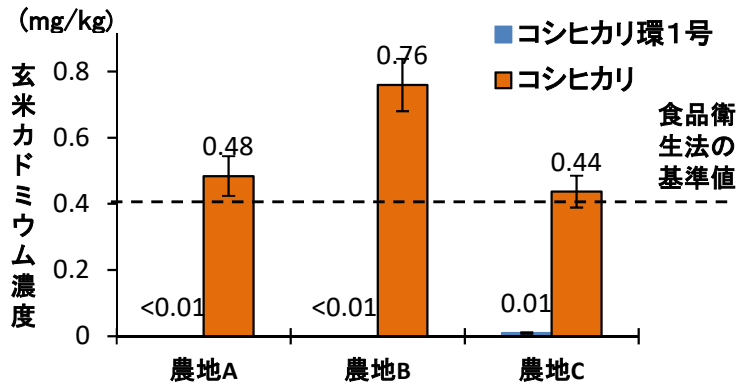
『カドミ米』の心配は、もういない！

低カドミウムコシヒカリの開発とその原因遺伝子の発見



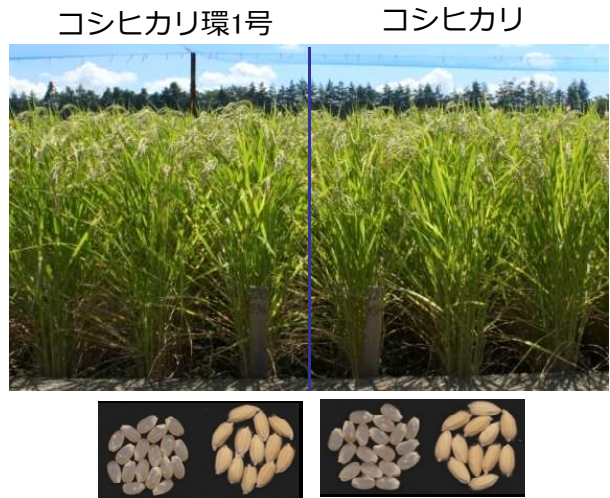
- ・ カドミウムをほとんど吸収しないイネ品種を開発し、「コシヒカリ環1号」の名前で品種登録(第24338号 平成27年5月)しました。
- ・ 原因となる遺伝子を識別できる『遺伝子マーカー』も開発、さまざまな品種を低カドミウムタイプにすることができます。

★ カドミウムを吸収しやすい条件で栽培しても、玄米にカドミウムをほとんど含みません



試験では、いずれの農地でもコシヒカリ環1号の玄米中のカドミウム濃度は0.01mg/kg以下でした。

★ イネの生育・収穫量、コメの食味は、コシヒカリと同等です

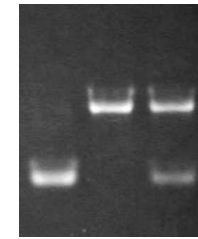


★コシヒカリ環1号は、コシヒカリの種子にイオンビームを照射してできた突然変異体の中から、玄米のカドミウム濃度の低い個体を選抜して育成しました。

★ コシヒカリ以外のイネ品種も低カドミウムタイプに変更可能です

現在、国や地方公共団体の農業研究機関と共同で、各地域の主要品種を低カドミウムタイプにする取り組みが進行中です。

電気泳動画像



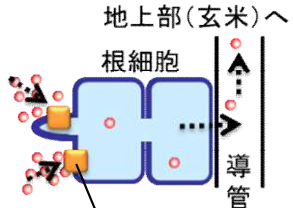
コシヒカリ 他品種 両品種の子
環1号 の子

コシヒカリ環1号と他品種を交配後、目印(遺伝子マーカー)により選抜します。

← この位置にバンドがあれば、低カドミウムの遺伝子を持っています。



★日本人が食品から取るカドミウムの40~50%は、コメ由来です。多くの品種が低カドミウムタイプになれば、カドミウムによる健康リスクを大幅に減らせます。



★コシヒカリ環1号は、根のカドミウム輸送機能が低下しており、カドミウムをほとんど吸収しません。

○カドミウム 変異によりカドミウムを吸収しなくなった膜輸送タンパク質

★ 現在、種子増産の準備を行っています。農業現場へ種子が普及するまで、もうしばらくお待ちください！

☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 農業環境変動研究センター 企画連携室

TEL:029-838-8191 FAX:029-838-8199 Email:niaes_kouhou@ml.affrc.go.jp